しいの実・たんぽぽ・みず クラスだより

2020.9.29 円町まぶね隣保園

しいの実ぐみ

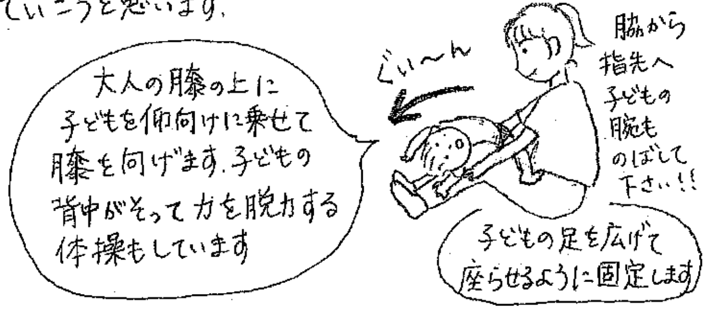
9月に入り、日中は暑い日もありますが、風が気持ち良く感じられるようになりました。　先日、園の周りを散歩しているとバギーに乗っていた子どもが チョウチョ が 飛んでいるのを見つけます。　ヒラヒラと舞うチョウチョを身動きせず、じっと目で追いかけている表情は とても真剣です。　また別の日、園庭で遊ぼうと 外に出ると 運動会ごっこに取り組む 幼児クラスの子どもたちがいました。自分たちの遊びを止め、しいの実組の子どもたちのそばに来て 頭をなでたり 目の前の砂を柔らかくして、掴みやすいようにしたりと、興味・関心を持って関わっています。　色々な人や自然に接することで 子どもたちの心が豊かに育ってほしいなと言う思いで見守っています。

身体を動かすこと

生まれてから一歳を迎える頃は めまぐるしく成長していく時期です。仰向けから一人歩きまで ただ何となくできるようになるのではありません。一つ一つ身体の動きを獲得することを積み重ねていき、次の段階へと進んでいきます。しっかりとした土台を作る為には自分自身で力をつけていく必要があります。この時期、一番力を入れているのが斜面のぼりです。手足でぐっとふんばり、全身の力も使って楽しんでいます。普段、当たり前にしていることが 子どもにとって良くないのでは…と思うこともあります。　例えば…

抱っこひも・おんぶひもは赤ちゃんにとって良いものでしょうか？

最近の抱っこひも・おんぶひもは赤ちゃんをしっかり守る為、安全に作られています。しかしそれは逆に言うと赤ちゃん自身は何もしなくても、筋肉を使わなくても支えられている ということです。それでは腹筋、背筋の力がつきません。ひもなしで、大人の手で抱っこやおんぶをされると赤ちゃん自身もバランスをとる為にコントロールしなければなりません。しかしそれが少しずつ積み重なり自分自身の力へと繋がっていきます。必要以上に使いすぎるのは良くないと思います。　大人が良かれと思ってしていることは果たして子どもにとって本当に良いこと、子どもを守っていることなのでしょうか、　保育園でも様々な方法を考えつつ、子どもと向き合っていこうと思います。



＊ シャワー用タオルを準備してもらっていましたが 汗をかくことも少なくなってきたので、準備の必要はありません。タオルは衣装箱に入れておいて下さい。ありがとうございました。

新年度に入ってからあっという間に9月、半年が過ぎました。季節はだんだん秋へと変わり、秋の虫もそろそろ顔を出すころではないでしょうか？
昼夜の気温差がある時期でもあります。
子どもたちの体調面にも気をつけていきましょう。

たんぽぽぐみ

久しぶりのお散歩へ

夏のあそびが終わり、身体も心も開放してあそんだ子どもたちです。あそびや生活を通して保育園が楽しい場所だ、安心できる場所だと感じ、保育者との距離もぐっと縮まってきました。

今月は暑さも和らいできたのでたくさん散歩に出掛けました。久しぶりに園外に出ると、以前散歩で見つけたタヌキの置き物にあいさつしたり、ごはん屋さんのメニューの看板をつまんで食べています。あそこにワンワンがいたよねーと期待したり、ひいらぎの葉をちょんと触って「いてててー!」と言ったりすることも覚えています。色々な経験が積み重なって、保育者や友だちと共有して喜ぶ姿に成長を感じています。10月はグループに分かれて少人数でじっくりゆったりと小さい月齢の子どもたちも手をつないでの散歩も楽しんでいきたいと思います。

できた！を自信につなげて…

子どもが自分から"やりたい"と思ってやり遂げることは"もっとやりたい"と思う気持ちや、"なんでもできる"という自信につながっていきます。この時期くつをはく時、ズボンをはく時、うまくいかずにかんしゃくを起こしたり、時間がかかることもありますが、"できる""できない"にこだわらずやってみたい！と思えたことに「おっ！スゴい！」と拍手を送りたいですね。やってみたい！がどんどん膨らんで考えて、試してそれがやっとできた時またたくさん誉めましょう。答えを先に教えたり、先まわりして困らないようにするよりも、今一生懸命な目の前のことに立ち止まって心を寄せてみて下さい。一緒に喜んでその自信を新たなチャレンジへの意欲につなげられるように気持ちを育んでいきたいと思います。

おねがい

☆ 涼しくなってきたので シャワータオルを 返却しています。
☆ 持ち物全てに名前を記入して下さい。

みずぐみ

暑さもようやく一段落し、季節の移り変わりを感じる頃となりました。日中はまだ暑い日もありますが、朝晩が冷込みます。体調の変化などに気をつけていこうと思います。
また、夏の疲れが出ているのか眠そうにしている子どもの姿があります。早寝・早起き・健康的な食事を心掛けましょう。

戸外あそび

園庭あそびでは、園庭に出る前から「せんせいダンゴ虫いるかなあ」「さがそう!」と言う子どもたちです。登園時に、「虫みつけたよー」と大切そうにカゴに入れて持ってくる子どももいます。皆、虫博士のようになって虫大好きな子どもたちです。
虫に触れることは脳に刺激になるということです。
これからも秋の虫を探していこうと思います。

祖父母への手紙

いつも優しく接してくださるおじいちゃん、おばあちゃんへの感謝の気持ちを込めて、子どもたちは絵を描きました。「さかなかくの」や「おじいちゃんのかお、おばあちゃんのかお」とマジックを持ち描いていきます。皆でポストまで投函しに行くと、ニコニコと目を輝かせて1人ずつポストに入れていました。

自分でやりたい!!

身の回りのことを自分でやりたい!という気持ちが芽生えてきました。自分で着替えたい!という気持ちはあっても前・後を認識したり、頭や足を通す先を認識することはまだ難しい年齢です。着る方法を伝えようとするよりも「自分で着たい!」という気持ちを大切にしましょう。親が実際に着替えている様子を見せましょう。「どうやって着替えるの?」と聞かれた時は、手順を意識してゆっくりと動かすとよいでしょう。自分で着替えたい時は、なるべく見守りつつ、さりげなく手伝ってあげましょう。